

令和8年度 宮城県精神保健福祉審議会(水回)

日時 令和8年10月14日(水)

午後6:30~9:30

場所 宮城県庁9階第1会議室

審議委員 我妻睦夫

自助グループ 白石晴月会長
サニボール部

審議会の冒頭からの発言で大変恐縮ですが、何卒
お許し願います。確かに私は審議委員になって3期目
かと思っております。5年間この審議会に出席させて
もらっています。当事者委員としてここに出席し発言することが感謝に
おります。ある意味で当事者だからこその心の痛に罹った
人の苦しみや悩みの深刻さがわか2部分か
あるかと思っておりますので、率直な意見を発信してゆきたい
と思っております。何卒、御了承願います。

ところで、この審議会のこれまでの経緯もよくかえってありますと
この場で話されたこと、また審議委員の方々がこの趣
が、精神保健福祉の促進や向上に具体的にどう諮ら
れたのかという点に疑問を、大かざるをえません。
私の現実認識が違わないところもあるかもしれませんが、
私の住んでいる仙南(白石市)近海圏では、殆んど
進んでいないように思います。

審議委員の方々がまた意見をお互いに尊重しあって
精神保健福祉の向上にまかしてゆけることが大切で
ありと思っております。この審議会が実りあるものになることを
願うものです。

今月の議題である精神保健センターの建て替えに
おけることについて私の意見を述べさせていただきます。
まず、老朽化した建て物と建て替えることは、
喫緊の課題です。そして、何年度も同じ意見を述べて
申し訳ありませんが、現実取込センターと現地に

建て替えることを主張 いたします。

2

果か掲げる(にも包括)ケアシステムの理念として、障害があろうか、なかろうか、誰もが地域で安心して暮らせる、共生の社会の構築こそが、もっとも大切なことであると思います。

私か、~~名取医療セー~~を現地で建て替えて欲しいと主張します。現在の~~医療セー~~の近隣には、様々な受け皿として、グループホーム、作業所、買物のできる店舗、通院の方々のためのアクセスの良さが兼ねてなっているからです。

今日の審議会では、建て替えに当たってどのような機能と付けなのか、ということが論点になりますか。

これまで名取医療セーが、県立の唯一の精神科病院として果たしてきた役割を継続、発展させていくと共に、これまで対応できなかったことへの反省を踏まえて、どのような機能をつけなければならぬかという点について、意見の集約を認めてほしいと思います。

話が長くなりましたので、あとは会議の途中で意見を述べさせていただきますようお願いいたします。

最後に申し上げます

本日、審議会の議題ではおりましたが、宮城県精神保健福祉審議会として、自死の問題を取り上げてほしいと思います。半月くらい前の河北新報に、令和6年度の宮城県の自死が確か、379人となったことが掲載されておりました。そして、小・中・高生の自死が最も多かったことが報じられました。宮城県の自死者は、全国で6番目に多いという点で、自死の要因は、さまざまあると思います。しかし、みんな生きづらさを感じていると思います。どのような事態を看過することはできないと思います。そういう意味から、この審議会の協議事項として取り上げていただきたいと思います。